



雲林寺報

第13号

2013年新春号

吾妻郡長野原町73

大洞山 雲林寺

TEL0279-82-2201

第四回雲林寺親睦ゴルフコンペ 10月8日草津高原ゴルフ場にて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。とともにお祈り申し上げます。昨今の不安定な社会情勢からか毎日のように犯罪やいじめの報道がなされるなど人々のこころの問題が提起されております。仏教には

「諸悪莫作（しよあくまくさ）」

諸善奉行（しよぜんぶぎよう）

自淨其意（じじようごい）

是諸仏教（ぜしよぶつきよう）

（七佛通戒偈）という言葉があります。「悪いことをせず、良いことをし自らの心を清める。これが諸仏の教えである」といった意味です。

当たり前のことを言っているようですが、実際にはなかなか実践しづらいことです。日頃無意識に行っていることは果たして正しいことでしょうか？他人の目の無いところで楽しようとしたり、いじめやいじめようか？自らの行いが良いことか悪いことか？常に自覚を持ち、それが仏の行いに沿っていくよう日々励むことが仏道であり、お釈迦様のみ教えなのです。

禅宗では「直心是道場」ということばもよく言われます。

「まっすぐな心があれば、そこが修行道場である」といった意味です。年頭にあたり気持ちを新たに、正しい道を歩んでいきたいものです。

昨年は当山二十八世大慈提三大和尚葬儀に際しましては大変お世話になりましたこと、あらためて御礼申し上げます。

雲林寺住職 轟 紀久

平成二十五年

雲林寺年間予定

一月二日 大般若祈祷会 年始受け

一月四日

一月七日

一月十八日 年頭のご挨拶廻り

二月三日 初観音様 梅花流新年会

二月十五日 節分会 午後七時より

二月十六日 釈尊涅槃会

二月十七日 梅花流一泊研修

二月下旬 教区護持会新年会

三月初旬 梅花流上級者検定

三月十八日 梅花流宗務所検定

三月十八日 春彼岸

四月三日 大般若会 午前十一時より

四月八日 釈尊降誕会(花祭り)

五月二十八日 梅花流全国大会

八月十四日 大施食会

九月二十日 秋彼岸

十月十四日(体育の日)

十一月中 第五回雲林寺親睦ゴルフコンペ

十一月中 梅花流県大会

十一月中 ※第六教区護持会親睦旅行

十二月八日 釈尊成道会

十二月三十一日 除夜の鐘

※今年秋の護持会の旅行は
一泊二日北陸方面「永平寺参拝」を
予定しております。
詳しい内容は次号(四月)でお知らせ
致します。



二〇一二年後半の出来事

八月十四日、十一時より雲林寺本堂にて大施食会がとり行われました。今年には法要前にムジカドマーニの皆様に「日本の夏の歌」をテーマにミニコンサートをして頂きました。法要には多くの檀信徒の皆様にお集まり頂き、御先祖様の精霊へ御供養して頂きました。

九月二十三日、長野原老人クラブ主催の物故者供養が本堂にて行われました。法要では雲林寺梅花講員の皆様に新亡精霊供養御和讃を奉詠して頂きました。

十一月二十八日、不動大橋のたもとに移転した上湯原不動堂の落慶式が行われました。お堂は新たに建築されましたが中に鎮座する不動明王や石仏等はそのまま高台に移されました。住職導師のもと四〇名くらいの方にご参列頂きました。



施食会ミニコンサート



8月14日大施食会法要



11月28日上湯原不動堂の落慶式



9月23日長野原老人クラブ主催物故者法要式

第四回雲林寺親睦ゴルフコンペに

参加して 黒岩文夫

平成二十四年一〇月八日体育の日に、お寺さん主催のコンペに誘われ、今までなかなか都合がつかなかったのですが、今回初めて参加する機会に恵まれました。当日は天候にも恵まれ絶好のゴルフ日和で、総代さんをはじめ多くの檀家さん方も参加され賑やかなコンペになりました。参加された皆さんも、お顔を拝見したことのある方が多く安心いたしました。場所も草津高原ゴルフ場と何回か来たことのある場所だけに親しみもわきました。肝心なスコアも、普段と変わらないようなスコアでしたが、楽しく回る事ができました。私にとってうれしかったことは、なんといつてもインの十八番のあの深い谷越えのコースで、今まで何回も谷越えができず、力んでは谷に落としていたのですが、今回初めて谷越えができました。何はともあれ天候にも恵まれ、楽しくできたことにお寺さんをはじめ総代さん方に感謝申し上げます。

結果発表

- 1位 割田三男様
 - 2位 萩原昭朗様
 - 3位 唐澤次男様
 - 4位 市村隆宏様 BG
 - 5位 田村英樹様
 - 6位 吉澤 功様
 - 7位 副住職
 - 8位 服部精一様
 - 9位 萩原國男様
 - 10位 住職
- ※BGベストグロ

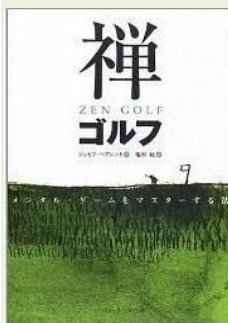
本年も引き続き第5回を10月14日(月・祝)の体育の日に予定しております。

過去参加者にはおハガキにて通知させていただきます。過去に参加されていない皆様にも多数のご参加お待ち申し上げます。



ゴルフ推薦書!!

アメリカの心理学者ジョセフ・ピアレントによる「禪ゴルフ」という本で、東洋的な禅の思想をゴルフに活かそうという内容で、ベストセラーになった書籍があります。実際、著者の禅的アプローチの指導を受けたビジエイ・シンは二〇〇三年度アメリカPGAの賞金王に輝いています。禅には、目の前にある現在という瞬間に没頭することが大事という考えがあります。前のホールでのミスは今さら悔やんでも仕方ありません。またバーディを取った後に「よし、今度も」と欲を出してもうまくいきません。過去は過去として切り捨て、今なすべきショットに集中することが良い結果を生んでいくと説いています。日常生活にも通じるものがあるような気がしますね。



出版社: ベースポ
ルマガジン社

感謝録

親睦ゴルフコンペの際は多くのご寄付を頂きましてありがとうございました。

- 賞品 金一萬円
- 萩原昭朗様
 - 山口次夫様
 - 櫻井芳樹様
 - 櫻井輝久様
 - 吉澤建設様
 - 聞販所様
 - 長野原新
 - 長野原新
 - かみつけ
 - 草津ナウリ

草津ナウリ
ソートホテル様

本年もよろしく
お願い申し上げます

【総代】

(護持会長) 萩原昭朗

(副会長) 櫻井芳樹

(会計) 長谷川誠

宮崎昭央

田村守

【世話人】

(長野原) 安斉たけ

(大津) 黒岩範一

(羽根尾) 山口喜正

(与喜屋) 浅見良雄

(横壁) 萩原富夫

(林) 金子茂雄

(川原湯・川原畑) 小林寛

(北軽井沢) 小原博文

豊田清

新井晴吉

土屋満州夫

清水忠雄

清水素彦

柳沢豊

吉田昇

黒岩進

櫻井守夫

山口義秋

湯本茂

吉澤功

市村由紀夫

山崎敷男

黒岩保男

宮崎広保

山口敏幸

黒岩元

櫻井輝久

市川儀一

黒岩保男

宮崎広保

山口敏幸

黒岩元

櫻井輝久

鐘楼堂前に達磨の彫刻

昨年十二月に、齊木石材工業(中之条町)の齊木利明様より御寄付頂きました。是非ご覧下さい。



55回梅花流群馬県記念奉詠大会



11月22日 梅花流群馬県記念奉詠大会

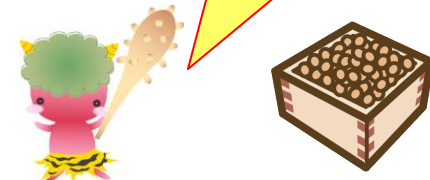


12月8日 釈尊成道会の様子

第五十五回梅花流群馬県記念奉詠大会が平成二十四年十一月二十二日、桐生市市民文化会館において開催されました。本年は五年に一度の節目の記念大会に当ります。この間に亡くなられた講員様(雲林寺では五名)の追悼法要を営み哀悼のまことを捧げました。また、記念奉詠大会バッツ図案応募者の篠原禮子さん、山崎トシヨさんには最優秀賞は惜しくも逃したものの優秀賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。今年の大奉詠曲は太常宗師大師瑩山禪師影向御和讃とその第一番御詠歌です。難しいとされる曲ではありますが皆様がからお褒めの言葉を頂き安心すると同時に一気に力が抜けたような感じが致しました。アトラクションでは「金子みすゞ歌物語」ということでソプラノ歌手の外山しのぶさんの美しい歌声と朗読でつづられ、会場内がみすゞの世界に引き込まれてゆくのが分かるような気が致しました。講員さん募集中です! 雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌(梅花流)の会がございます。参加費無料。ご詠歌は、ご供養の気持ちを心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。新入講員さん紹介 小笠原明代さん(与喜屋) 鷹野慶子さん(草津町) 黒澤節子さん(草津町) 宜しくお祈り致します。雲林寺梅花講会長に篠原禮子さん 十一月よりお願いするようになりました。宜しくお祈り致します。



法要後はお楽
み豆まき大会
があるよ!!
な来てね!



二月三日夜七時より本堂にて祈禱が始まります。厄年の方は是非厄払いの祈禱をお申込み下さい。祈禱料貳千円、祈禱料記念品付参千五百円になります。

節分会 2月3日(日) 午後7時~
平成25年(2013年)厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
女19歳の厄	17歳(1996生)	18歳(1995生)	19歳(1994生)
男25歳の厄	23歳(1990生)	24歳(1989生)	25歳(1988生)
女33歳の厄	31歳(1982生)	32歳(1981生)	33歳(1980生)
女37歳の厄		36歳(1977生)	
男42歳の厄	40歳(1973生)	41歳(1972生)	42歳(1971生)
男女61歳の厄	59歳(1954生)	60歳(1953生)	61歳(1952生)

※厄年は数え年で見ます。節分まで(1月1日から2月3日)の生まれは前年に入ります。

平成二十五年

年回正當のお知らせ

年回法要は、一般に法事と呼ばれてはいるもので、亡くなった翌年が一周忌、その翌年が三回忌です。三回忌からは亡くなった年も含めて数え、追善供養の法要を営みます。

毎年施食会の際に通知を差し上げておりましたが、「もっと早くお知らせをして欲しかった」というお声を頂戴致しましたので、略式ですがご連絡させて頂きます。☆御名前前は施主名になります。

例7：七回忌

(長野原地区)

- 浅沼邦男様 阿藤伸子様 安斎たけ様
- 市川儀一様 加嶋明様 金子宥巻様
- 加部恒夫様 柄澤但様 黒岩保男様
- 黒岩裕一様 黒岩範一様 黒岩文夫様
- 黒岩美代様 坂井久四郎様 越水直様
- 櫻井佑喜様 佐藤修二郎様 酒井良幸様
- 佐藤鉄夫様 佐藤花吉様 篠原章様
- 原節子様 篠原徳司様 篠原博史様
- 原吉太郎様 柴崎高治様 芝田忠正様
- 嶋村均様 清水武男様 清水勇次郎様
- 高橋昇様 竹淵実様 中沢初枝様
- 達男様 野口光様 長谷川誠様
- 弘彦様 丸山邦雄様 宮崎武雄様
- 達彦様 宮崎秀盛様 宮崎武雄様
- 雅夫様 山口次夫様 山口松代様
- 元美様 依田たつ子様 湯本春雄様
- 元美様 依田たつ子様 湯本春雄様

(大津地区)

- 浅川文雄様 浅見知久雄様 浅見俊雄様
- 浅見二司様 一場榮様 一場康弘様
- 市村仁様 市村広様 市村稔様
- 重春様 黒岩すみ子様 黒岩輝雄様
- 林うた代様 小林喜一郎様 小林貴様
- 小林達夫様 小林三三夫様 小林ほぎ
- 櫻井輝久様 櫻井憲様 櫻井貞夫
- 櫻井敏雄様 篠原則夫様 篠原義
- 嶋村勝治様 嶋村照男様 嶋村
- 嶋村真琴様 嶋村満様 嶋村与
- 清水猛様 関貢様 田村守様
- 富澤孝一様 富澤重男様 富澤忠様
- 富澤道夫様 野口善行様 松本直幸様
- 村田誠様 矢野晴江様 山口一浩様
- 山口利治様 山崎正臣様 湯本泉様
- 湯本今朝夫様 山崎正臣様 湯本泉様

(林地)

- 足立恒雄様 市村勝美様 小林寛様
- 林福二様 篠原榮子様 篠原かよ子様
- 篠原孝夫様 篠原武夫様 篠原忠秋様
- 長太郎様 篠原哲夫様 篠原延行様
- 信様 篠原美好様 篠原好雄様
- 子様 茂木うめ様 茂木幸次郎様
- 星河由紀

(横壁地区)

- 金子一夫様 金子茂雄様 金子幸弥様
- 豊田八太郎様 豊田美明様 萩原國男様

(北軽井沢地区)

- 青木菊正様 青木裕治様 新井登様
- 恒一様 伊藤千枝様 石田繁信様
- さ子様 大沢雄二郎様 太田正夫様
- 様 上谷川憲一様 桐沢正芳様
- 工様 斎藤哲也様 柴崎三郎様
- 下田繁一様 下田忠弥様 下田和希様
- 仲雄様 関根鉄夫様 土屋満州夫様
- 誠様 中村嘉江様 萩原三様
- 藤田桂一様 真下宝一様 宮澤昭次様
- 澤八重子様 宮田満様 山田栄二様
- 正平様 宮田満様 山田栄二様

(与喜屋地区)

- 加部正司様 篠原憲太郎様 篠原光江様
- 長井仲様 野口友江様 萩原富夫様
- 行雄様 丸山はる江様 宮崎敏夫様
- 樹様 湯本宇吉様 山本茂

(羽根尾地区)

- 一場計一様 井上眞様 片桐建造様
- 沢克幸様 唐沢子三郎様 唐沢富雄様
- 唐沢まさ子様 唐沢美恵子様 唐沢稔様
- 岩勝雄様 黒岩大様 櫻井守夫様
- 様 中山保太郎様 野口澄子様
- 山口通夫様 小暮光雄様 樋口憲治様

(川原湯・川原畑地区)

- 高山喜幸様 野口廣邦様 野口美恵子様
- 富澤吉太郎様 野口廣邦様 野口美恵子様

(町外) ※順不同

- 野口正人様 野口武一様 萩野誠様
- 雅春様 篠原仁美様 篠原勤様
- 様 大塚延子様 黒岩栄子様
- 篠原今朝六様 野口けい子様
- 金丸明子様 野口一雄様

- 井口廣様 篠原百合子様 湯本正喜様
- 通之様 山崎公恵様 浅見よし江様
- 人様 嶋村和樹様 寺島正明様
- 野口徹様 長谷川ふさ江様 佐竹正治様
- 野口明成様 橋詰好子様 白田康子様
- 一幸様 小田部吉伸様 蟻川守雄様
- 小林明様 佐藤三様 篠原実様
- 口宗様 野口みつ代様 星河英雄様
- ち子様 土屋直己様 野口利司様
- 干川武好様 関富三様 湯根あつ子様
- よし子様 齊藤明様 高橋栄一様
- 山田しげみ様

平成二十五年年度年回早見表

年回	死亡年	早見表
一周忌	平成二十四年	二〇一二年
三回忌	平成二十三年	二〇一一年
七回忌	平成十九年	二〇〇七年
十三回忌	平成十三年	二〇〇一年
十七回忌	平成九年	一九九七年
二十三回忌	平成三年	一九九一年
二十五回忌	平成五年	一九九三年
二十七回忌	昭和六十二年	一九八七年
三十三回忌	昭和五十六年	一九八一年

編集後記

平成二十五年の初春を迎え、皆々様の益々のご多幸を心より祈念申し上げます。

一鶴は千年 亀は万年 我は天年」という仙厓和尚の言葉があります。

千年も万年も生きる鶴亀よりも長生きする方法は「私は天年、仏年を生きている」と自覚することです。

しょう。それが死んでも死なない生き方になるのです。

生き死のことは、天命、仏命に任せるだけです。「天地をわが心となせば至るところ安楽なり」です。

また、「あるがまま」に安んじていることでしょうか。

あるがままは「ないがまま」でもあります。でも「あるがまま」ということではありません。

なあんだあと思われるかもしれませんが、梅の花は梅の木に咲き、桃の花は桃の木に咲く。それがへあるがまま」ということではないでしょうか。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

副住職 轟 省吾